

前号(2月号)に引き続き、11月25日に行われました瞳みのる先生の講演会についてご報告します。

瞳みのる先生講演会報告

(配布資料を見ながら白楽天の『八月十五日禁中独直对月忆元九』を読み)この詩は脚韻を綺麗に踏んでいるのみならず、詩の中央に位置するフレーズは、対句となり、平仄もきちんとしてリズム感があります。ロックンロールでも2拍4拍にストレスを置きますが、七言律詩は2、4、6で調子を置きます。このように中国の古典の詩は創作においてたくさんのルールがあり、ルールにがんじがらめで作るので面倒なものです。その意味で言うと、日本の和歌や俳句は簡単だといえるでしょう。中国の詩はまるでパズルのようで、与えられたものでしか作れず非常に難しいけれど、すばらしい文化だと思います。ですが、現代の中国ではこの文化がなくなってしまっていて、私としては警鐘を鳴らしたいと思っています。自分もこの白楽天の詩に和して、白楽天と同じ脚韻を踏んで五言律詩を作ってみました。こういうことをやっているとき時間を忘れてしまうほど楽しいですね。作詩には3、4日没頭します。時に夜中に起きて「この字の方がいい」とか「韻律にかなっているだろうか」などと考えると夜も眠れないので、体には良くないかもしれないのですが、本当に楽しいです。この白楽天の詩と自分の詩を合体させて、歌にならないかなと思いついて『荒城の月』の曲にのせてみました。(中国語と日本語で1クール歌唱)。あとはコンサートで聞いてもらえればと思います(笑)

『黄鹤楼』という詩の脚韻も非常に綺麗です。現在黄鹤楼は復元されてその建物も綺麗です。このような詩文中の対句や韻を踏むというのはほかの言語でも見られる現象で、例えばビートルズの『A Hard Day's Night』でも韻を踏んでいます。日本語はなかなか韻を踏むというのが難しくできません。

李白の『静夜思』ですが、五言律詩の文字数20字にあわせ、私なりに訳してみました。自分の場合単に文学作品を訳すのではなく、歌えるように訳しているのですが、香港の梅艷芳(アニタ・ムイ)の曲を編曲して歌っています。李白のこの詩では、同じ漢字「頭」や「月」を2度使っていますが、同じ漢字を2度使うのは本来ルール違反ですが、李白の場合は素直に自分の気持ちが詩ににじみ出ているので、かつ天才だから許されるのです。

(資料に戻って)『何日君再来』は、もともとは日本人である李香蘭が歌った曲ですが、この詩はかなり漢語を意識した曲で綺麗だと思います。

学好中国话、为日中友好起桥梁作用!

日中学院報

2018年 3

毎月1回1日発行 第516号

編集発行人・片寄浩紀

定価1部100円/1年1000円(送共)
郵便振替 東京 00100-38184

〒112-0004 東京都文京区後楽1-5-3

TEL 03-3814-3591 FAX 03-3814-3590

URL <https://www.rizhong.org/>

E-mail info@rizhong.org



2018年2月 華やかな正月です!

A 先生の新語コーナー



dújiǎoshòu gōngsī “独角兽公司”

ユニコーン企業。株式未公開(未上場)で、企業評価が10億ドル以上のベンチャー企業。この言葉は2013年ごろから米シリコンバレーで使われるようになった。当時、この条件にあてはまる企業はほとんど存在しなかったため、伝説の生き物ユニコーンになぞらえてこう呼ばれるようになったが、最近急増している。なお、中国では「創業10年以内の評価額が10億ドル以上の企業」と定義されており、配車アプリ最大大手の「滴滴出行」などのビッグデータ関連が多い。(A)

それに林芙美子の好きだった言葉を利用して新たに日本語の詩をつけてみました。

文化大革命が始まった一年後にザ・タイガースが結成され、GS（グループサウンズ）ブームが起こったのですが、中国では文化大革命中でビートルズとかを知らないという時代でした。政治に文化が左右されてしまった、音楽史的にも悲しい状況といえます。文化大革命と言いながら文化が政治に弄ばれてしまった時代なんです。そのころ自身は北京大学に留学していましたが、「焚書坑儒」のように書物でさえ空白な時代になっていました。現在でも政治に文化が翻弄されている国や地域があって、その意味で、日本は空白を感じずに連綿と文化を享受できていて、本当に幸せだと思います。文革の終わりごろは「昼は鄧小平の話を、夜は（台湾の）鄧麗君（テレサ・テン）の歌を聴く」という言い方がありました。2016年にキューバではローリングストーンズがコンサートを開きました。キューバの人たちは音楽が鎖国状態だったにもかかわらず、みなローリングストーンズの歌が歌えました。同様に当時の中国人も大陸本土ではないテレサ・テンの歌も歌えたのです。音楽は本来政治や宗教を超えて広まるものだと思います。

中国語の魅力・特徴についてもお話してみましょ。日本語で「昨日公園で僕は彼女を見かけた」は、中国語では、「我昨天在公园看见她了」、英語では“I saw her in the park yesterday”。中国語では語順は先ほどの文でほぼ動かしようがないし、英語でも同様です。日本語は24パターンの語順に変えられます。例えば「昨日」からスタートする文を作ると「昨日僕は公園で彼女を見かけた」「昨日僕は彼女を公園で見かけた」「昨日彼女を僕は公園で見かけた」「昨日彼女を公園で僕は見かけた」等となり、また頭の言葉を「公園で」に変えたり、「僕は」あるいは「彼女を」に変えたりもできます。

英語の“I love you”を日本語の語順で言うと“I you love”、中国語の“我爱你”は“我你爱”となってしまう、(非文となります)。否定は英語は“I don't love you”、中国語は“我不爱你”、助動詞を入れると“I cannot love you”“我不能爱你”というように否定詞の位置が英語と中国語で異なります。中国人ははっきりものを言うと言われますが、中国語は英語よりもっと早く否定しているのです。日本語は文の最後まで聞いて初めて否定かどうかわかります。こういう語順の違いというのはものすごく大きく、英語や中国語は、文を見ればすぐわかるように言葉の位置、並びが明確で、語順が非常に重要であることがわかります。

要するに、このように第二外国語で中国語のような外国語を学ぶかどうかで客観性を養えると思うのです。逆に言えば、1つの言語しか知らない、客観性をもって物事を判断しないのではないかと思うのです。母国語だけでは視野が狭く、第二言語が増えても母国語との一対一で意味を暗記して覚えるだけにとどまるかもしれないのが、第二外国語を以て第三番目以降の他言語に接した場合、母国語と第二番目の言語に足して比較して考え、母国語をも客観的に見ることができるのではないかと思うのです。とくに英語、日本語、中国語というルーツが全く違う3言語ではその比較は非常に興味深くなると思います。(完・文責 高木美鳥)



(訂正：2018年2月号 瞳みのる先生講演会報告P1 本文7行目で「李秀清先生」とすべきところ、「李淑琴先生」となっておりました。お詫びいたします。

図書室 だより

昨年の寄贈書から

今月は、引き続き昨年御寄贈頂きました図書から1冊ご紹介いたします。

★《上海的风花雪月》 陈丹燕 著 作家出版社

★(邦訳)『上海メモラビリア』 陳丹燕 著
莫邦富・廣江祥子 訳 草思社



1900年代前半、『東洋のパリ』と呼ばれた上海。当時の華やかな世界であった頃と現在を重ね合わせながら今そこに生きる人々の姿を詩情あふれる文章で記した散文集。

図書室所蔵の邦訳版に加え、昨年原著を御寄贈頂き、原著もお読みいただけるようになりました。邦訳書は文章のみの収録ですが、原著では写真が多く掲載されていて、当時の上海の様子に思いを馳せることができます。

<今月の新着図書>

★《菊と刀》 [美] 魯思・本尼迪克特 著 何晴 译 浙江文艺出版社 ※ルース・ベネディクト 著 『菊と刀』中国語訳

★《十個詞彙裡的中國》 余華 著 麥田出版

※『ほんとうの中国の話をしよう』(飯塚容 訳)の中国語原著

★『君と共に中国を歩く』 ある台湾人父子の卒業旅行 呉祥輝 著 東光春 訳 標言社

★『チェロと私と牧羊犬(シェパード)と』 八月長安 著 納村公子 訳 浙江出版集団東京

★『硬きこと水のごとし』 閻連科 著 谷川毅 訳 河出書房新社

★『これぞ ジャックマーだ』 陳偉 著 光吉さくら・ワン・チャイ 訳 大樟樹出版社

★『1967中国文化大革命 荒牧万佐行写真集』 集広舎
※1967年代表訪問団の一員として中国を訪問した元毎日新聞カメラマンの著者による、当時の街の様子を撮影した貴重な写真の数々が収められています。

<寄贈>

下記の方より、図書室に寄贈がありました。御礼申し上げます。

服部和夫様(著者)より

『霞んだ太陽 - 中国企業で奮闘する日本人』

高橋俊隆様(著者)より

『北京の合歓の花 - 私と中国・中国語-』

※まだ中国との国交がなかった頃から中国語学習を始め、その後日中友好商社に就職、41年間で250回近く訪中した元商社マンの中国語・中国体験記です。著者の高橋俊隆さんは1972年4月から約2年間日中学院別科に在籍され、その頃の様子も本書に記しています。(p51ページから)

勝手に

「漢詩和訓」(第二回)

企画 Y 先生

このコーナーでは、古来から書き下して読むのが主流の漢詩を、七七調に和訓して(読みやすい日本語を当てて)紹介します。

遊子吟

たびびとのうた

孟郊

慈母手中線
ははがてずから
したてるものは

慈母 手中的線

遊子身上衣
ひとりたびだつ
わがこのきもの

遊子 身上の衣

臨行密密縫
わかれにのぞみ
ぬいめはみつに

意は恐る 遅遅たる帰りを
行くに臨んで 密密に縫う

意恐遅遅歸
ただきにかける
かえりのおくれ

誰か言う 寸草の心は
三春の暉に報い得んとは

誰言寸草心
かよわきくさに
すぎぬむすこよ

報得三春暉
いかにむくいる
はるのひざしに



3月の日中学院

星期日	星期一	星期二	星期三	星期四	星期五	星期六
				1 ●日本語科 春休み(～4/9)	2 ●日本語科 成績発表	3
4	5	6 ●本科授業最終日	7 ●本科 春休み (～4/9)	8	9	10
11	12 ●本科成績発表	13	14	15 ●本科・日本語科 合同卒業式 ●本科4次入試 受付締切	16 ●別科公開 18:45～ (入門・基礎)	17 ●本科4次入試
18	19 ●本科4次入試 合格発表	20	21 ●祝日	22 ●別科授業休み	23 ●本科補欠入試 受付締切 ●別科授業休み ●別科公開 18:45～ (入門・基礎)	24 ●本科補欠入試/ 発表 ●別科公開 13:00～ (入門・基礎)
25 ●中国語検定試験	26 ●別科268期 授業最終日	27 ●春期集中講座 (～29)	28	29	30	31
●4月の日中学院 ・5日…本科・日本語科 合同入学式 ・6日…別科公開 18:45～(入門)			・7日…別科公開 13:00～(入門・基礎) ・9日…別科269期授業開始 ・10日…本科・日本語科 オリエンテーション		・27日…本科・日本語科 都内見学	

程大使一行が学院訪問

2月8日(木)午前、程永華中国大使、薛劍公使など中国大使館指導部一行及び日中友好会館の荒井理事長など計約10名が日中学院を新年のあいさつを兼ねて訪れ、本科の授業を見学した。まもなく春節、本科1年は料理教室で餃子を作っている最中、研究科では生け花教室で研究生が留学生に生け方を指導していた。和気藹々の雰囲気で大使一行も楽しそうであった。



2018年4月(269期) 別科受付が始まります!

3月1日(木)より、4月からの別科授業の受付が始まります。使用するテキストは、事務局でもご覧いただけます。また、授業の見学なども出来ます。ご不明な点等、お気軽に事務局にご相談下さい。



[報告]

2月18日に日中学院で、「江尻さんをしのぶ会」が行われました。当日は80名近くの皆様にご参加いただきました。久しぶりに日中学院にお越しになった方も多く、懐かしい話をしながら、江尻さんとの思い出を語り合うことが出来ました。